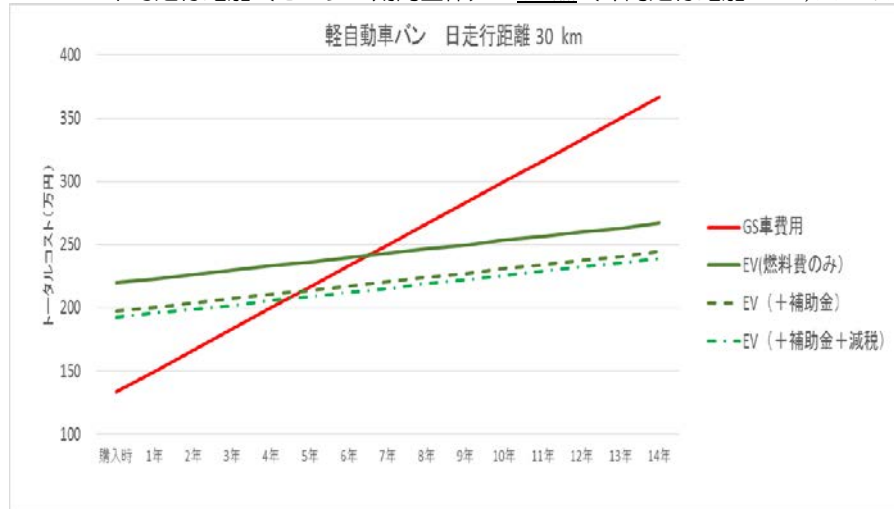


業種	店舗・生活サービス
業種に含まれる事業	卸売業・小売業、製造業、飲食店、写真業、クリーニング業
主用途	仕入れ、配送等
平均走行距離 (稼働日のみ)	5.9~38.3km/日
平均走行距離 (モニター期間全体)	3.9~38.3km/日
最長走行距離	29.3~103.0km/日
走行時間帯	平日7時~20時
利用傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均走行距離（稼働日のみ）は、5.9~38.3kmで、かなり幅があるが、EVの航続距離に比べて余裕があり、業務利用上支障がない。</li> <li>ただし、土産物を扱う卸売業においては、島内に点在する宿泊施設や土産物販売店舗への納品等配送業務が多く、観光繁忙期を中心に1度の外出で複数箇所への納品を行うような利用がみられる。観光繁忙期における日あたりの走行距離は100kmを超えるため、継ぎ足し充電が必要になる可能性がある。</li> </ul>
年間燃料節減費	16,700円~173,900円
ガソリン車との トータルコスト比較 ①	<p><b>【条件】 軽自動車バンタイプ</b> 平均走行距離（モニター期間全体）：10km（年間走行距離 3,650km）</p> <p><b>【コストメリットを享受するための使用期間】</b> 補助金及び減税を活用した場合でも14年目にならないとトータルコストが逆転することはない。</p>
ガソリン車との トータルコスト比較 ②	<p><b>【条件】 軽自動車バンタイプ</b> 平均走行距離（モニター期間全体）：20km（年間走行距離 7,300km）</p> <p><b>【コストメリットを享受するための使用期間】</b> 補助金及び減税を活用した場合で7年目にトータルコストが逆転する。</p>

ガソリン車との  
トータルコスト比較  
③

**【条件】軽自動車バンタイプ**

平均走行距離（モニター期間全体）：30km（年間走行距離 10,950km）



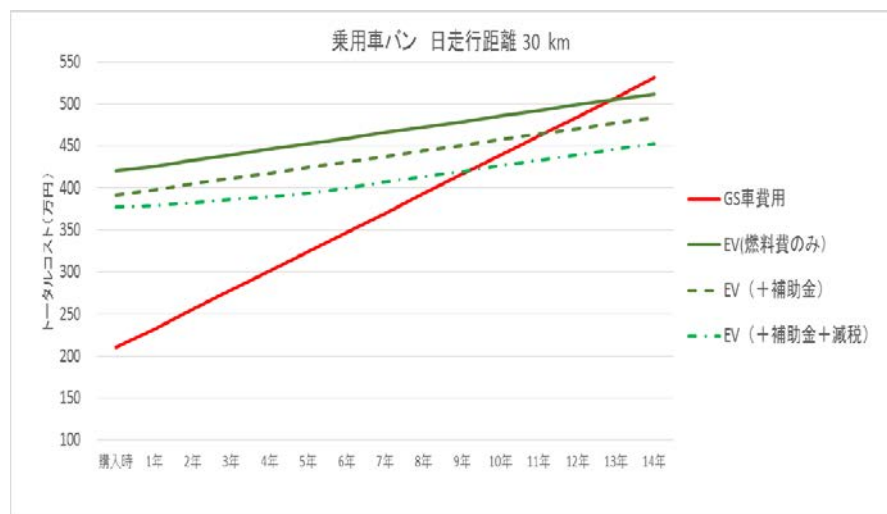
**【コストメリットを享受するための使用期間】**

補助金や減税を活用した場合で5年目に、補助金や減税を活用しない場合でも7年目にトータルコストが逆転する。

ガソリン車との  
トータルコスト比較  
④

**【条件】乗用車バンタイプ**

平均走行距離（モニター期間全体）：30km（年間走行距離 10,950km）



**【コストメリットを享受するための使用期間】**

補助金及び減税を活用した場合で10年目にトータルコストが逆転する。

適応EV車種

軽自動車バンタイプ（例：ミニキャブ・ミーブ）

仕入れ、配送という用途のため、積載量が多い乗用車バンタイプなども適しているが、経済性を考慮すると軽自動車バンタイプが最適である。

課題

水産物の加工・販売を行う事業者においては、港で陸揚げされた新鮮な魚介類を取り扱うため、匂いや汚れをすぐに洗い流せるような軽貨物トラックが求められるが、市販の軽貨物トラックEVは存在しない。